

基本戦略 05 戦略基盤の強化

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

金融界を取り巻く経営環境の変化に対応し、健全な銀行業務を通じて社会に貢献していく姿勢を明確にするため、企業理念を制定し、地域社会やお客さま、従業員、株主の皆さまの信頼を得るとともに、当行の持続的成長と中長期的な企業価値の一層の向上をめざしています。

その実現に向け、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行えるコーポレート・ガバナンス体制の仕組みとして、監査役会設置会社を採用し、監査役会による監査機能を有効に発揮させるとともに、独立性の高い社外取締役を複数名選任して取締役会の監督機能を十分に発揮させることにつとめています。

また、会社法にもとづき、「内部統制システムの基本方針」を制定し、当行ならびに当行子会社からなる企業集団における業務の適正を確保する体制を整備しています。そのほか、コーポレートガバナンス会議や各種委員会の設置、IR活動の充実などについても取り組んでいます。

取り巻く経営環境が変化するなかで、コーポレート・ガバナンスを強化・充実させていくため、今後も必要に応じて体制の見直しを図っていきます。

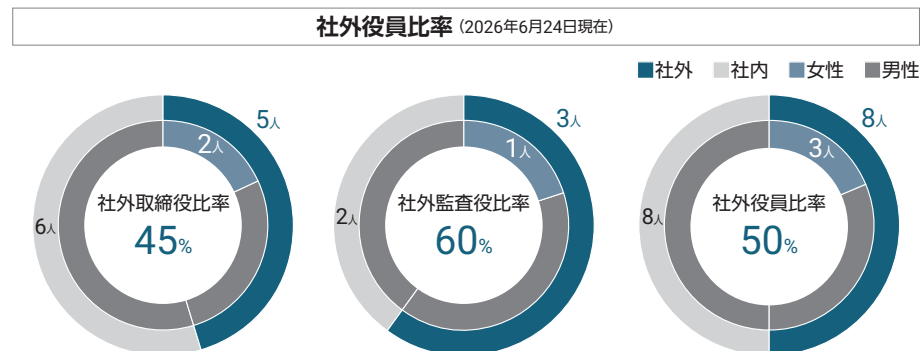
PDCAの強化

取組み事項	内容・対応
情報共有の迅速化	経営陣から提起された課題等を各部署と共有し、その対応状況を定期的に経営陣に報告・追加指示への対応を促す態勢を強化する。
取締役会での議論のさらなる活性化	取締役会への付議事項の重要度に応じた審議時間の確保（報告事項の簡略化等）や、社外取締役への事前の資料開示のタイミングの見直し、事前説明の充実などにより、審議時間を適切に確保する。

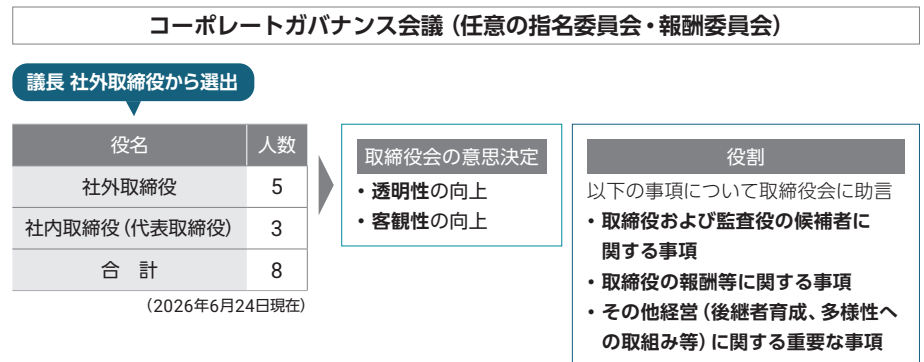
コーポレート・ガバナンスの強化

当行は、コーポレート・ガバナンスの強化につとめています。2026年6月24日現在、当行の社外役員比率は50%、女性役員は3名となっており、社外役員の多様化を進めています。また、任意の指名委員会・報酬委員会である「コーポレートガバナンス会議」を設置し、取締役会の意思決定の透明性・客観性の向上を図っています。

社外役員の選任・多様化



社外役員による適切な関与・助言



»コーポレート・ガバナンス

取締役会 実効性評価

当行は、中長期的な企業価値向上とコーポレート・ガバナンス高度化を目的として、年次で取締役会の実効性評価を実施し、その結果の概要を公表しております。

1 分析・評価の方法

2025年度の実効性評価については、客観性および透明性を確保するため、第三者機関の関与のもと、取締役・監査役全員を対象としたアンケートを実施いたしました。なお、アンケートの回答方法については、第三者機関に直接回答することで匿名性を確保しております。

2 評価結果の概要

2025年度の実効性評価については、多様性あるメンバー構成により、それぞれの経験・知見にもとづき多面的かつ深度ある議論がなされ、意思決定機能および監督機能は適切に発揮されており、実効性が十分確保されていることを確認いたしました。

【主な意見】

- ・取締役会資料については、毎回早めに準備されており、事前に確認する時間を十分確保できている。取締役会の実効性を高め、充実した議論を行う上で有意義である。
- ・経営戦略や経営計画に関する重要な事項については都度丁寧に説明がなされており、PDCAサイクルについても良好に運営されている。

3 前回（2024年度分）開示事項に対する取組み

前回評価において「サステナビリティ（ESG要素を含む中長期的な持続可能性）を意識し、経営戦略や経営課題に関する情報共有や深度ある議論を行うとともに、PDCAサイクルの取組みを強化すること」を課題として認識しており、取締役会メンバーに対するサステナビリティ関連情報提供の充実や、サステナビリティと経営戦略・人材戦略とを有機的に関連づけた人的資本経営の審議等を行うとともに、PDCAサイクルの取組み強化を進めた結果、一定の改善が図られたと評価いたしました。

4 今回認識した主な課題

(1) 株主等からの意見のフィードバック

株主・機関投資家の皆さまとの対話・議論状況を、取締役会に適確にフィードバックし、当行の経営により一層活かしてまいります。

(2) 取締役会運営のさらなる高度化

重要事項の審議時間確保に向け、さらなる運営の充実・深化を図ってまいります。

2025年度取締役会で議論された主な事項【15回開催】

サステナビリティ経営に関する事項

・2026年度業務計画 ・人事ポリシー制定 ・Scope1,2削減計画 ・DX推進と生成AI活用

コーポレート・ガバナンスに関する事項

・取締役会の実効性評価 ・政策保有株式の保有見直しおよび売却方針策定

サイバーセキュリティに関する事項

・サイバーセキュリティにかかる戦略・取組計画 ・サイバーセキュリティ管理態勢の第3者評価結果

リスク・コンプライアンスに関する事項

・2026年度コンプライアンス活動計画策定
・マネー・ローンダリング等にかかる百五銀行グループリスク評価書改定 ・統合リスク管理の運営方針策定
・年間監査計画決定 ・トップリスク選定 ・カスタマーハラスメントに対する基本方針策定

役員報酬制度

1 取締役の報酬

企業価値の持続的な向上を図るインセンティブとして支払われるものであり、個々の取締役の報酬の決定に際しては、各職責をふまえた適正な水準とすることを基本方針といたします。

【報酬の種類】

確定金額報酬	年間総支給額300百万円以内とし、役割や責任に応じて月次で支給いたします。
業績連動型報酬	単年度(前年度)の業績に応じて、年1回、定時株主総会後に支給する報酬であり、対象となる事業年度の当期純利益の0.9%を総支給額といたします。ただし、その上限額は100百万円とし、当期純利益が2,000百万円未満の場合は支給額0円といたします。
株式報酬型 ストック・オプション	中長期の企業価値向上と株価上昇への意欲や士気を高めることを目的として、総割当額30百万円以内で、年1回、新株予約権を割り当ていたします。

»コーポレート・ガバナンス

(1) 常勤取締役の報酬

固定報酬としての確定金額報酬、業績連動型報酬ならびに株式報酬型ストック・オプションにより構成しています。

【種類別の報酬割合】

確定金額報酬：業績連動型報酬：株式報酬型ストック・オプション＝70：25：5（業績連動型報酬が満額支払われる場合）を目安として、役位・職責・業績等を総合的に勘案して決定いたします。

(2) 社外取締役の報酬

その職務に鑑み、確定金額報酬のみを支払うことといたします。

(3) 個人別の報酬額

取締役会決議にもとづき取締役頭取がその具体的内容について委任を受けるものとし、その権限の内容は、各取締役の確定金額報酬および業績連動型報酬の評価配分といたします。取締役会は、当該権限が取締役頭取によって適切に行使されるよう、コーポレートガバナンス会議に諮問し助言を得るものといたします。前記の委任を受けた取締役頭取は当該助言の内容を尊重して決定をしなければならないことといたします。なお、株式報酬型ストック・オプションはコーポレートガバナンス会議の助言をふまえ、取締役会で取締役個人別の割当個数を決議いたします。取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針は、コーポレートガバナンス会議に諮問し審議・助言を得た後、取締役会の決議を得て決定しております。

2 監査役の報酬

中立性および独立性を高めるため、月次で支給する確定金額報酬のみといたします。支給時期、配分等については、監査役の協議により決定いたします。

社外役員の選任理由

社外取締役

以下の理由により、当行の持続的成長を促し中長期的な企業価値の向上を図る観点から、取締役会の意思決定機能や監督機能の実効性強化等に大いに貢献いただけると判断し、社外取締役に選任しております。

氏名 (就任年月)	選任理由	2025年度 取締役会出席状況
川喜田 久 (2015年6月)	長年、民間企業の経営に携わり、経営者としての豊富な経験と幅広い見識を有しております。	15回／15回
西岡 慶子 (2020年6月)	長年、民間企業の経営に携わり、経営者としての豊富な経験と幅広い見識を有しております。	15回／15回
廣田 恵子 (2024年6月)	これまでの三重県庁における豊富な業務経験を通して、地域の実情や課題を熟知し、地域創生にかかる経験・知見を有しております。	15回／15回
安藤 仁 (2025年6月)	長年、上場企業の経営に携わり、経営者としての豊富な経験と幅広い見識を有しております。	11回／11回
渡辺 俊哉 (2026年6月)	長年、生命保険会社の経営に携わり、金融業界における豊富な経験と幅広い見識を有しております。	—

社外監査役

以下の理由により、取締役会、監査役会で積極的に所感または意見を述べるとともに、助言・提言を行うなど、適切に監査活動を行うことができると判断し、社外監査役に選任しております。

氏名 (就任年月)	選任理由	2025年度 取締役会・監査役会 出席状況
鶴岡 信治 (2019年6月)	大学教授としての幅広い知識に加え、大学の理事および副学長を歴任し、組織運営に関する豊富な経験と幅広い見識を有しております。	取締役会 15回／15回 監査役会 14回／14回
川端 郁子 (2019年6月)	長年、検事および弁護士として活躍し、法律の専門家としての豊富な経験と幅広い見識を有しております。	取締役会 15回／15回 監査役会 14回／14回
中村 正博 (2025年6月)	長年、銀行やシンクタンクの経営に携わり、金融業界における豊富な経験と幅広い見識を有しております。	取締役会 10回／11回 監査役会 9回／10回